

2023年5月期 決算説明

東証スタンダード・名証プレミア 3321

2023年7月7日

2023年5月期 決算説明資料

1. 2023年5月期 ハイライト

2023年5月期 決算概要

●売上高

- ・売上高は過去最高を更新
 - ・車載関連分野は得意先の生産調整の影響などもあり減収
 - ・民生・産業機器・アミューズメント分野は増収

●営業利益・経常利益・当期純利益

- ・売上高の増加による売上総利益額の増加、スポットでの販売、経費抑制、効率化策の継続も寄与し、各利益は過去最高を更新

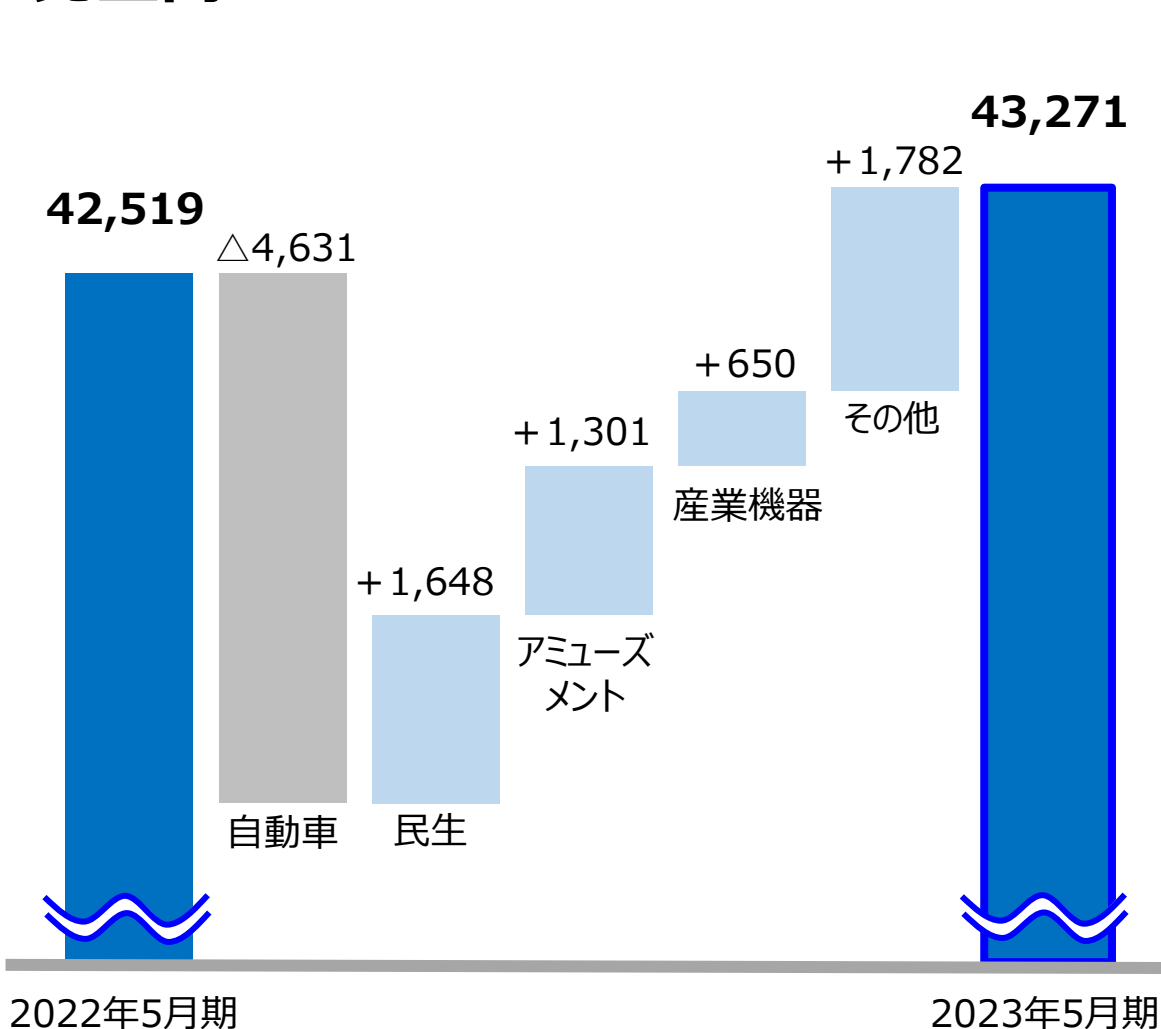
●株主還元

- ・年間配当は1株につき65円
(中間配当30円、期末配当25円 + 創業50周年記念配当10円を予定)

2. 2023年5月期 決算概要

売上高

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2022年5月期		2023年5月期		前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	42,519	-	43,271	-	+752	+1.8%
売上総利益	4,496	10.6%	5,341	12.3%	+845	+18.8%
販管費及び一般管理費	2,477	5.8%	2,850	6.6%	+372	+15.0%
営業利益	2,018	4.7%	2,490	5.8%	+472	+23.4%
経常利益	2,134	5.0%	2,452	5.7%	+317	+14.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,465	3.4%	1,693	3.9%	+228	+15.6%

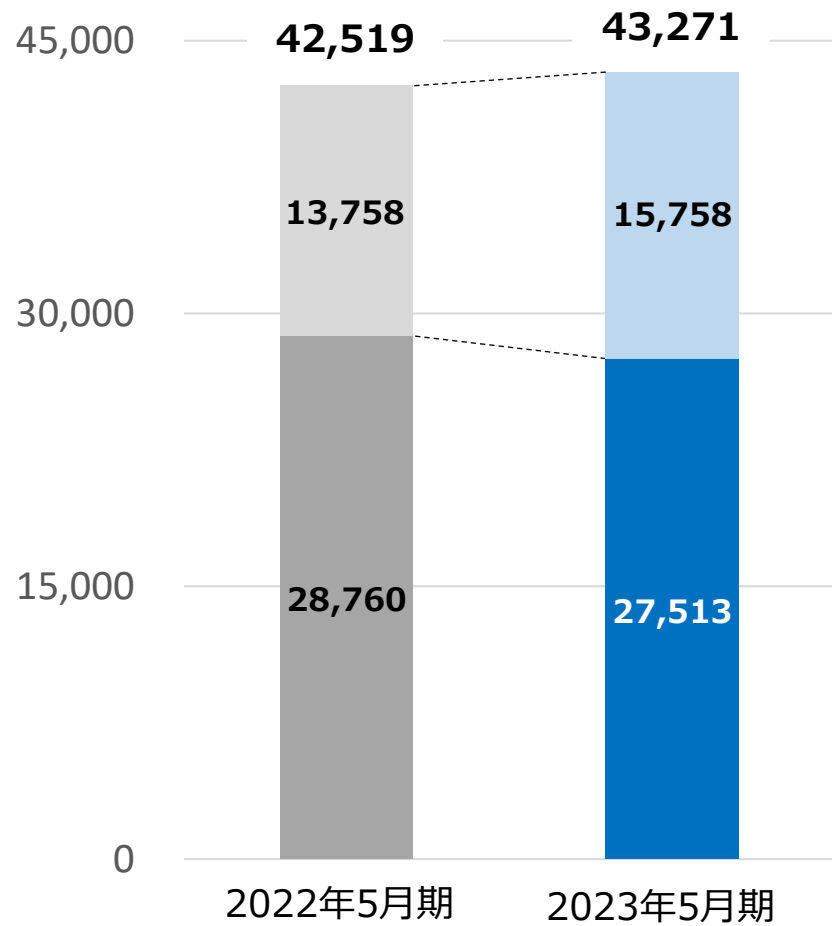
3. 2023年5月期 決算概要

	2022年5月期	2023年5月期	前期比増減
1株当たり当期純利益	184.86円	212.87円	+28.01円
自己資本当期純利益率	13.6%	13.7%	+0.1%
総資産経常利益率	11.6%	12.0%	+0.4%
売上高営業利益率	4.7%	5.8%	+1.1%
総資産	20,210百万円	20,804百万円	+594百万円
純資産	11,631百万円	13,096百万円	+1,465百万円
自己資本比率	57.5%	62.9%	+5.4%
1株当たり純資産	1,463.32円	1,643.99	+180.67円

4. 2023年5月期 セグメント売上高・利益

売上高

(単位：百万円)

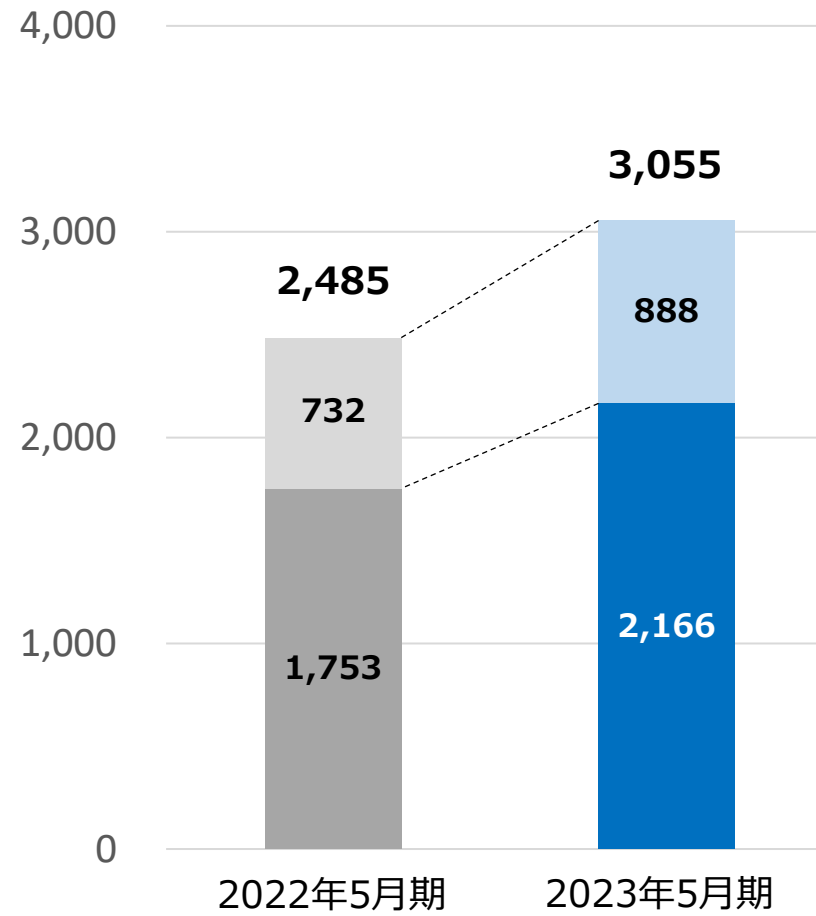


売上・海外

 売上・国内

利益

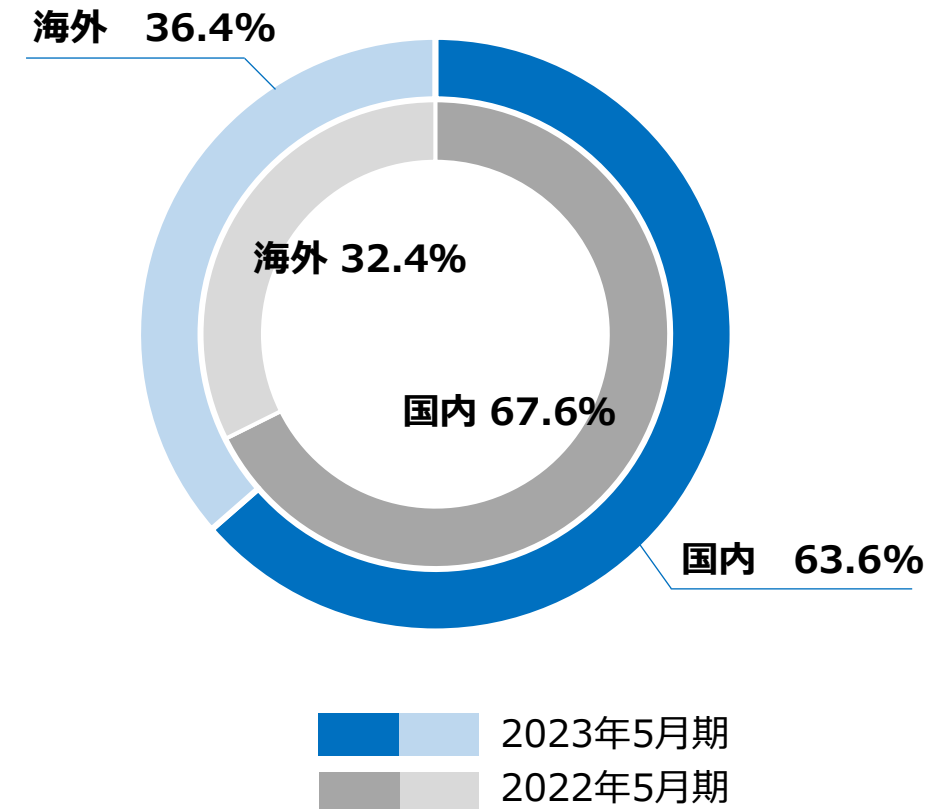
(単位：百万円)



利益・海外

 利益・国内

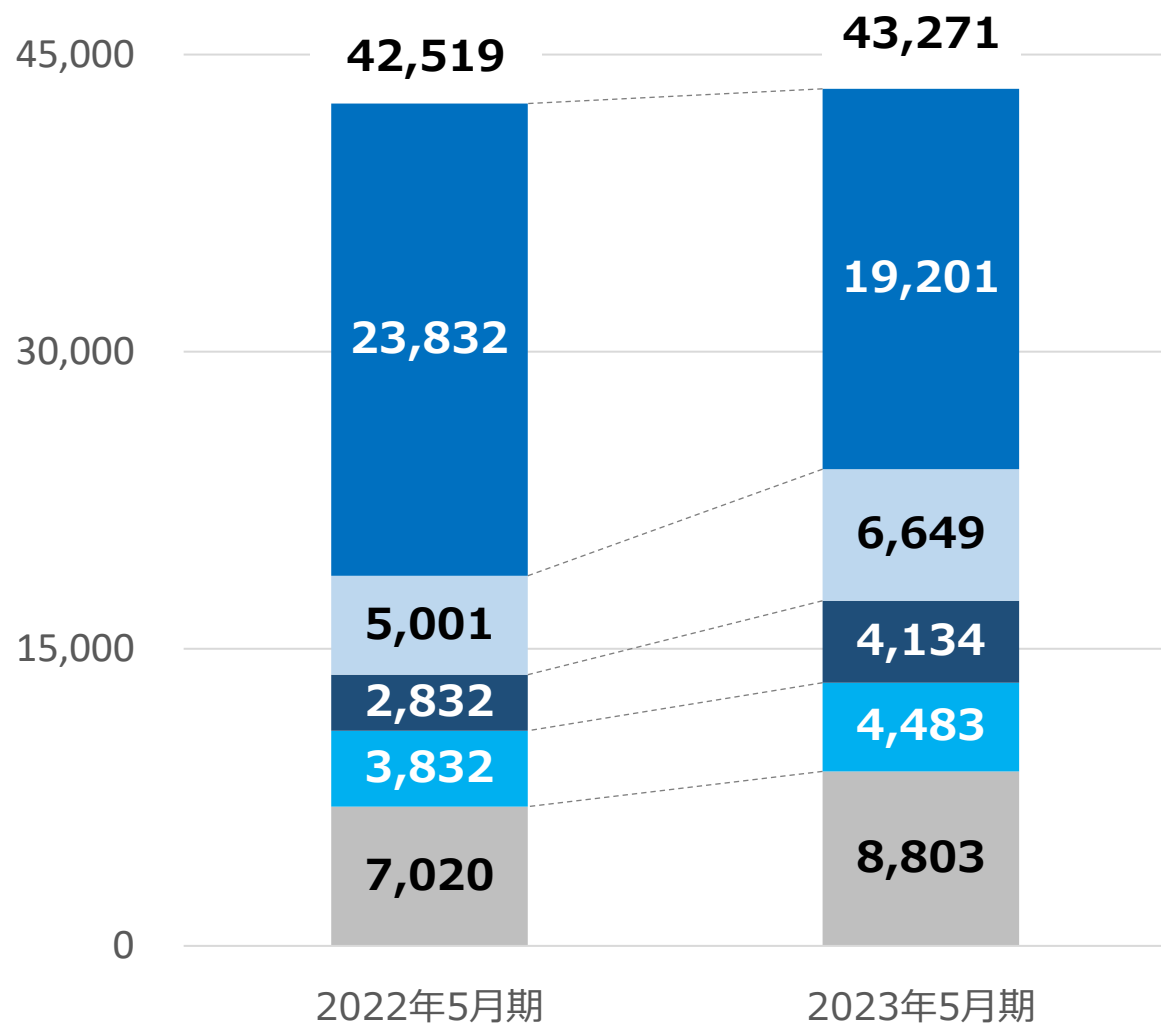
売上高 構成比率



5. 2023年5月期（参考）分野別売上高

(単位：百万円)

(単位：百万円)

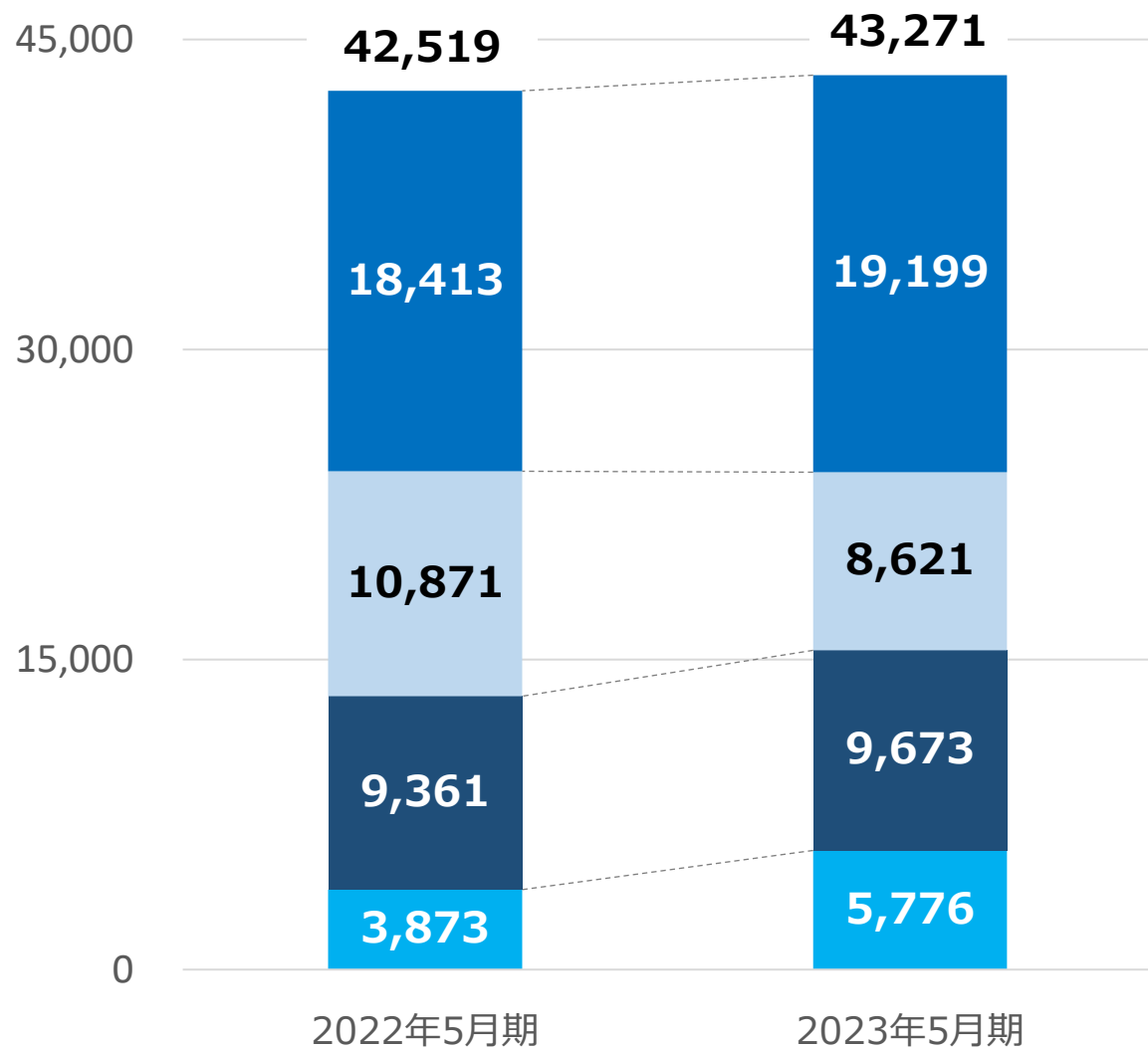


■ 自動車 ■ 民生 ■ アミューズメント ■ 産業機器 ■ その他

	2022年5月期		2023年5月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減比
自動車	23,832	56.1%	19,201	44.4%	△19.4%
民生	5,001	11.8%	6,649	15.4%	+33.0%
アミューズメント	2,832	6.7%	4,134	9.6%	+46.0%
産業機器	3,832	9.0%	4,483	10.4%	+17.0%
その他	7,020	16.5%	8,803	20.3%	+25.4%
合計	42,519	100.0%	43,271	100.0%	+1.8%

6. 2023年5月期（参考）品目別売上高

(単位：百万円)



■ 半導体 ■ 電子部品 ■ ユニット・アセンブリ ■ その他

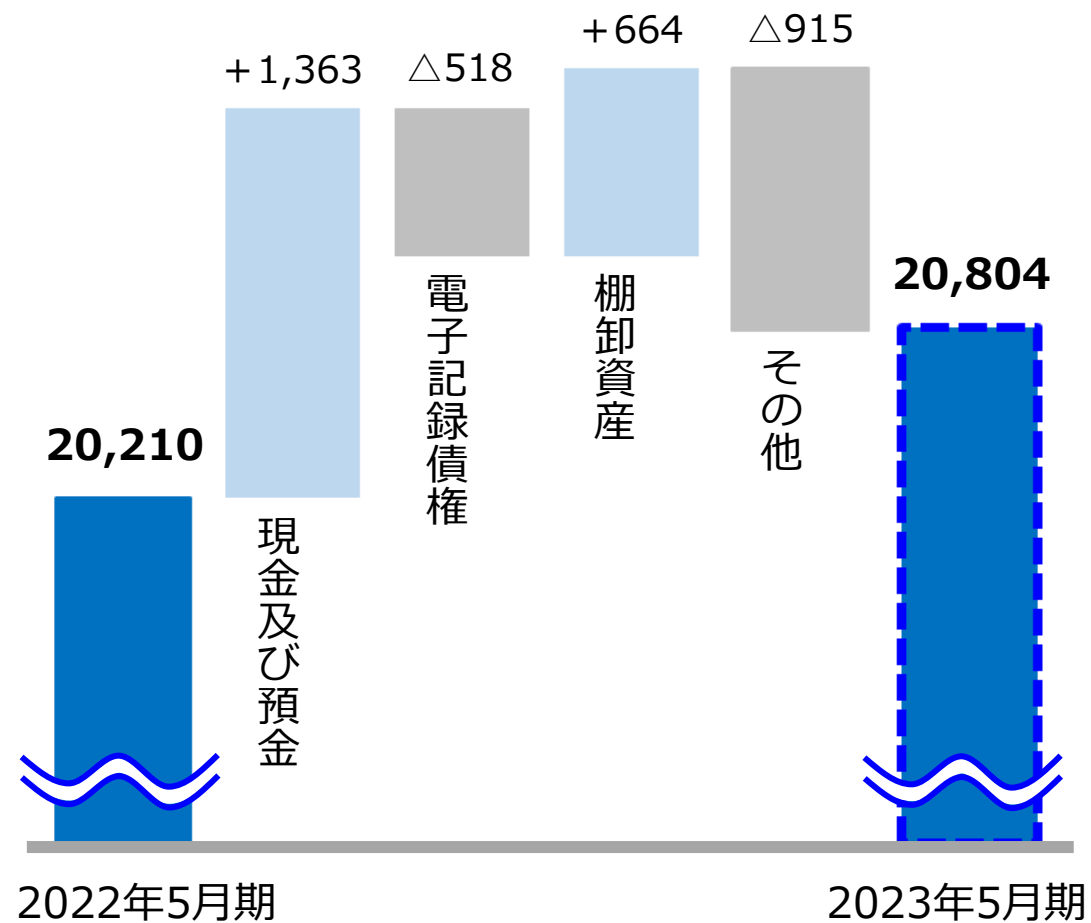
(単位：百万円)

	2022年5月期		2023年5月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減比
半導体	18,413	43.3%	19,199	44.4%	+4.3%
電子部品	10,871	25.6%	8,621	19.9%	△20.7%
ユニット・アセンブリ	9,361	22.0%	9,673	22.4%	+3.3%
その他	3,873	9.1%	5,776	13.4%	+49.1%
合計	42,519	100.0%	43,271	100.0%	+1.8%

7. 2023年5月期 貸借対照表の概要

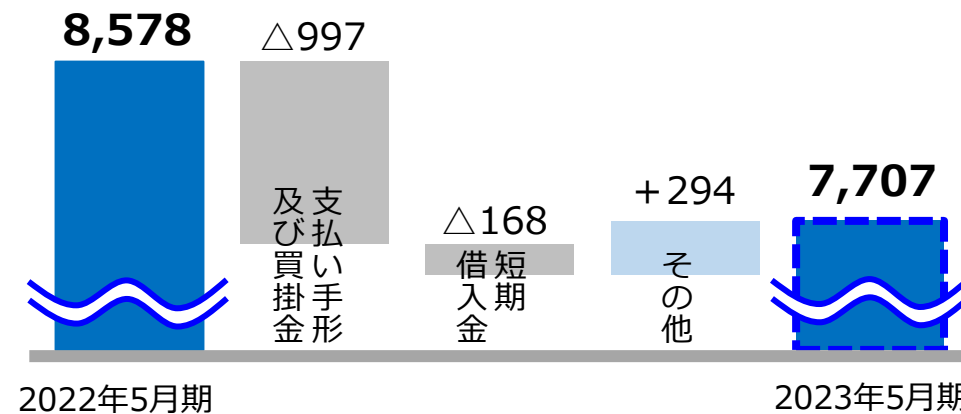
(単位：百万円)

■ 資産合計



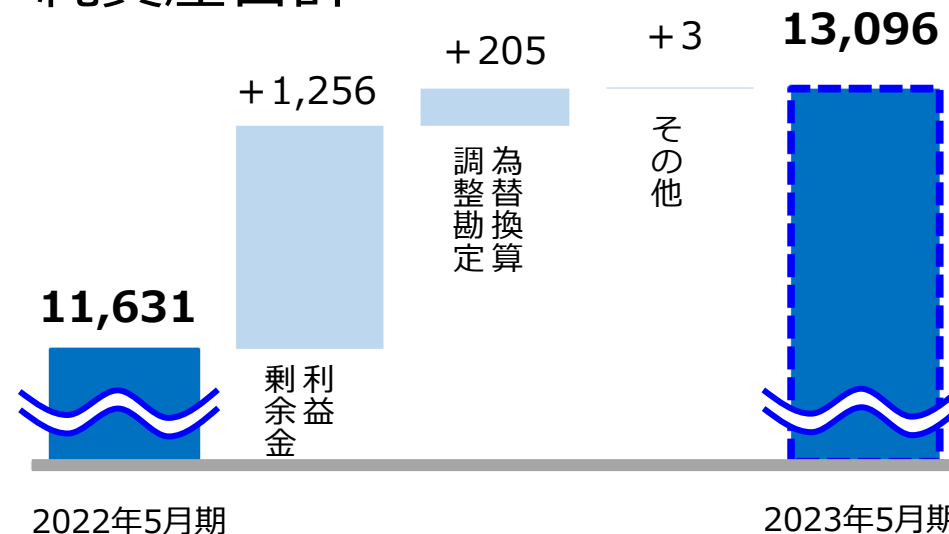
■ 資産
■ 資産の増加
■ 資産の減少

■ 負債合計



■ 負債
■ 負債の増加
■ 負債の減少

■ 純資産合計



■ 純資産
■ 純資産の増加
■ 純資産の減少

8. 2023年5月期 キャッシュフロー計算書の概要

(単位：百万円)

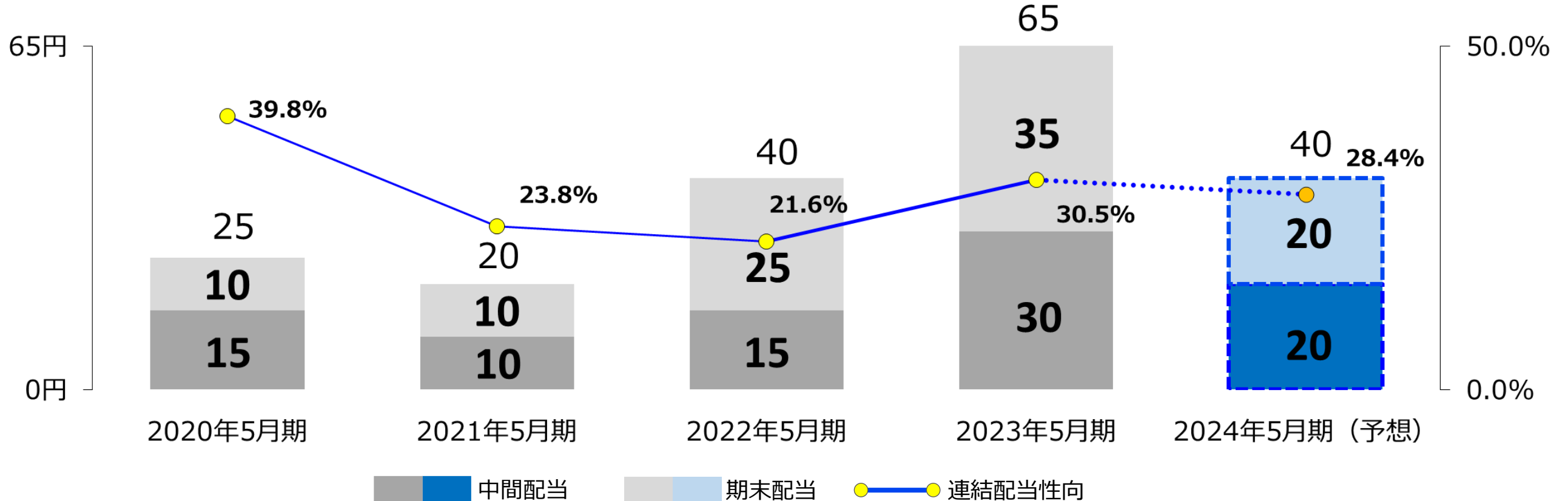
	2022年5月期 決算実績	2023年5月期 決算実績	内 訳	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△156	2,121	税金等調整前当期純利益	+2,452
			売上債権の増減額 (△は増加)	+1,072
			仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,180
			棚卸資産の増減額 (△は増加)	△489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14	△81	有形固定資産の取得による支出	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	805	△653	短期借入金の純増減額 (△は減少)	△177
			配当金の支払額	△437
現金及び現金同等物の増減額	628	1,353		
現金及び現金同等物の期末残高	2,619	3,973		

9. 株主還元

2023年5月期 年間配当 1株につき65円(記念配当10円含む)
2024年5月期 年間配当 1株につき40円(予想)

(1株あたり配当：円)

(配当性向：%)



※2023年5月期の期末配当金につきましては、2023年8月に開催予定の第47期定時株主総会での決議を経て決定をする予定です。
 ※現時点の予定につき、今後さまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

10. 2024年5月期予想

- **経済情勢** : 国内外の経済社会活動は緩やかな回復が期待される一方、米中貿易摩擦やウクライナ情勢などにより不透明
- **業界動向** : 半導体・電子部品需要は、中長期的には拡大が見込まれる
一時的なコロナ禍の需要増加の反動や在庫の調整なども予想される
- **今後の取組み** : 基盤ビジネスの強化・拡大のため、北米をはじめとしたグローバルでのネットワークを強化
経営基盤の強化の為、人事制度や働き方の改革、DXや健康経営の推進にも努める

	2023年5月期		2024年5月期(予想)		前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	43,271	-	43,000	-	△271	△0.6%
営業利益	2,490	5.8%	1,600	3.7%	△890	△35.8%
経常利益	2,452	5.7%	1,600	3.7%	△852	△34.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,693	3.9%	1,120	2.6%	△573	△33.9%
1株当たり当期純利益 (円)	212.87	-	140.68	-	△72.19	-

(単位：百万円)

11. 中期経営計画（2021年度～2023年度）

基盤ビジネスの強化・拡大

- 自動車分野、産業機器分野での取り組み強化
- EMS事業の強化・拡大
- グローバルネットワークの強化
- 協業、M&Aの活用による強化

新規顧客・新規事業での成長

- 新規顧客の獲得
- 新規市場への参入
- IoT領域での事業拡大
- 社会課題の解決事業への取り組み
- 課題解決型の開発力の強化
- 協業、M&Aによる成長・加速

仕入先との協業強化

- 仕入先と一体となった営業活動
- 国内・海外商材の拡充

経営基盤の強化

- ガバナンスの維持・強化
- 健全な財務基盤の維持・向上
- グローバルでの人財育成
- 人事制度と働き方の改革
- 健康経営の推進
- DXの推進
- 品質の維持・強化

中期経営計画目標（2023年度）

売上

500億円

営業利益

16億円

ROE

10%以上
維持・向上

12. トピックス・取組み①

1 米国子会社の設立

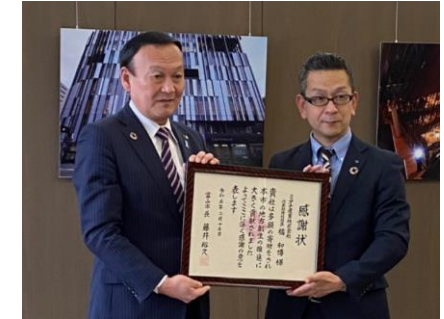
北米でのエレクトロニクス市場での顧客ニーズに対応するべく、アメリカ合衆国ミシガン州に半導体・電子部品の販売ならびにEMSサービスの展開を目的とする子会社を設立いたします。

商号：MITACHI AMERICA, INC.
所在地：Michigan, United States of America



2 富山市との包括連携協定の締結

2023年2月15日地方創生の推進の相互連結と協力の一環として、富山市と包括連携協定を締結しました。富山市まち、ひと、しごと総合戦略の推進や地域課題解決への取組みなど、相互の連結と協力により地方創生を推進し、地域社会の発展に向けた取り組みを行ってまいります。



3 デジタルクルーズとの資本業務提携

2023年6月16日 デジタルクルーズ株式会社と資本業務提携をいたしました。

両社でのデジタルサイネージ周辺機器の企画・開発・製造・販売及び、ハードウェアとソフトウェアの融合による新たな市場価値の創出を目指します。



4 健康経営優良法人2023認定取得

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に3年連続で認定されました。引き続き従業員の健康保持、増進活動を進めていきます。



[詳細を見る](#)

<https://www.mitachi.co.jp/company/healthmanagement/>

5 「DX認定事業者」に認定

2023年6月1日、経済産業省が定める「DX認定事業者」に認定されました。エレクトロニクス、デジタル、ソフトウェア等に関わる商材やテクノロジーとともに、お客様の困っている事を解決し、満足をご提供し続ける企業であることを目指します。



[詳細を見る](#)

<https://www.mitachi.co.jp/company/dx/>

13. トピックス・取組み②

オリジナル製品・サービス

アライアンス製品・サービス

1 アルコールチェック クラウド システムの開発・販売開始

2023年12月1日から施行予定の、道路交通法改正での安全運転管理者の検知器を用いた酒気帯び確認の義務化に際し、飲酒運転の撲滅を目的とし、製品&システムの販売を開始してまいります。



アルコールチェッククラウド管理システム「アルポーター」なら低コスト導入で簡単に一括管理ができます！

使い方は簡単 4 ステップ



2 Snow Palette

業務提供先との協業で、自治体向けの積雪自動モニタリングのシステム・サービスの販売を開始。巡回業務や管理業務の負担軽減に貢献していきます。

積雪深自動モニタリングシステム
スノー パレット
SnowPalette 2022年度版

✓自治体職員様で他社より安価で簡単に設置可能

24時間 遠隔確認 → 巡回業務 負担軽減 → コスト削減

ご要望に合わせてカメラ、GPS管理、雨量 etc... カスタマイズ可能です。

観測地点の積雪深を24時間いつでも確認できる

積雪深センサー

クラウド

パソコン・スマホ

工事なしで取付可能 安価に設置できます

クラウドにモニタリングデータ保存

既存の支社に簡単設置 パッケージ稼働にも対応

アラートをメールでお知らせします

14. 会社概要及び株式の状況

会社名 ミタチ産業株式会社
MITACHI CO., LTD.

創業 1972年9月
設立 1976年7月
本社 〒460-0026
愛知県名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号

資本金 8億4080万円570円
従業員 連結520名 ※
単体130名 ※ (※ 2023年5月31日現在)

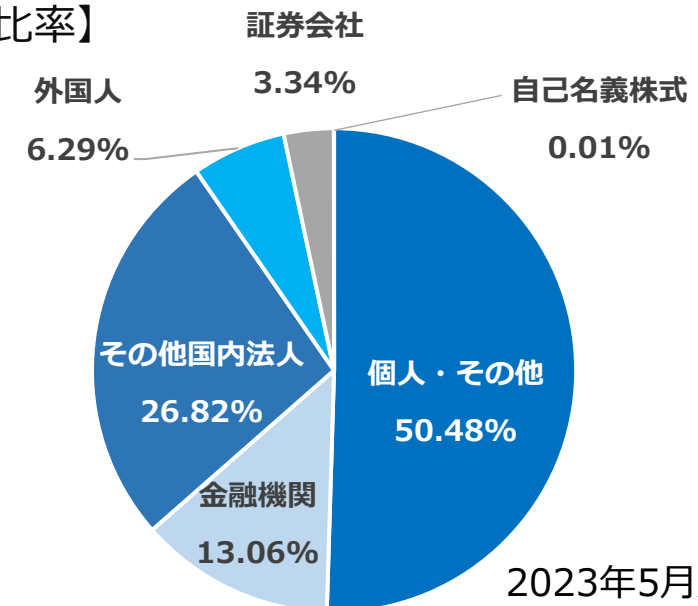
役員 代表取締役社長 橋 和博
常務取締役 奥村浩文
取締役 野村慎一
取締役 田村 学
取締役(常勤監査等委員) 大島卓也
社外取締役(監査等委員) 中浜明光
社外取締役(監査等委員) 松岡正明
社外取締役(監査等委員) 澁谷 歩

【大株主の状況】

2023年5月31日現在

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社J U	1,844,800	23.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	412,000	5.18%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	255,900	3.21%
橋 和博	223,400	2.81%
株式会社三菱UFJ銀行	200,000	2.51%
吉田 知広	120,900	1.52%
ミタチ産業従業員持株会	118,023	1.48%
井上 銀二	110,000	1.38%
野中 光夫	110,000	1.38%
株式会社大垣共立銀行	100,000	1.26%

【構成比率】



2023年5月期 決算説明資料

15. 経営理念

顧客第一主義

満足を得た顧客こそビジネス最大の源泉
お客様の満足が自社の繁栄につながっている経営を行う

一流へのチャレンジ

開かれた近代経営を行い、永遠の企業発展を目指す

企業の社会的貢献

ボランティア、メセナ等で社会に貢献していくことは必要であるが、当社において最も大切な貢献は、毎期利益をあげて税金を納め続けること。そして、社会のルールを守り他人に迷惑を掛けない事業を行うこと

人間尊重

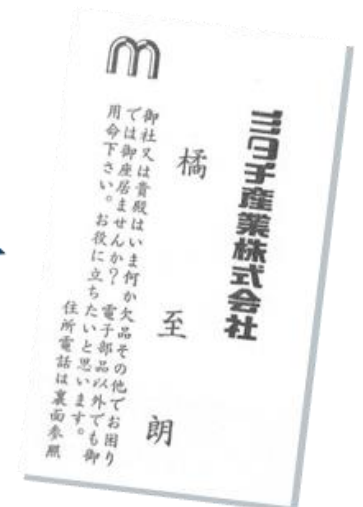
従業員が会社の宝であり財産。お互いに自己を尊重すると同時にあらゆる他人をも尊重する

創造的革新

現状に満足せず、常に問題意識をもって自己を厳しく見つめ、絶え間ない変革を遂げていく

創業当時の
名刺

創業当時の名刺にも記されているとおり、
「お客様が困っていることを解決しよう！」という熱き思いが
ミタチの原点です。



16. 「ミタチ」の由来について

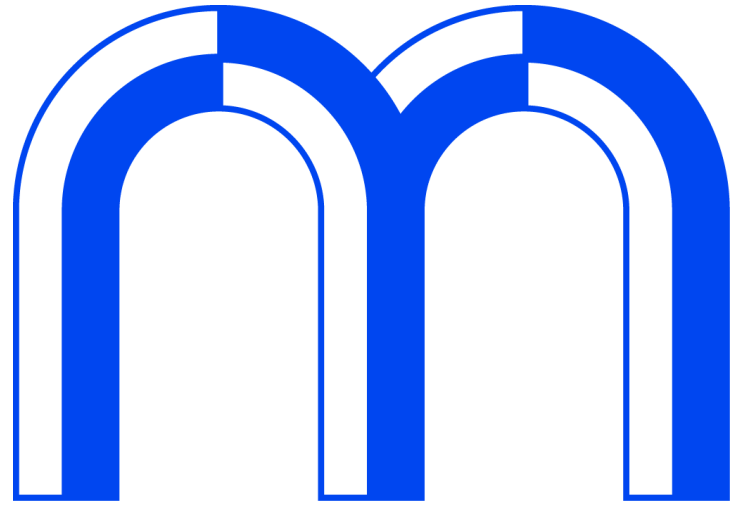
お客様

当社・株主様

仕入先様

当社の社名は三つで成り立つ（お客様、当社、仕入先様）という
三位一体の精神に由来しています。

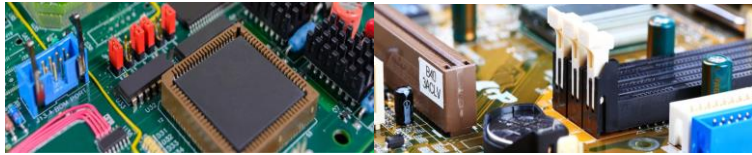
17. 「ミタチ」のシンボルマークについて



ローマ帝国時代に生命をつなぐ水を運ぶ大切な使命を果たした「ガールの水道橋」
2000年の時を超え往時の卓越した技術力を今に伝えるこの橋をモチーフに
当社の社章は生まれました。そこにはいつまでもお客様と仕入先様をつなぐ
架け橋でありたいという思いが込められています。

18. 事業内容

電子デバイス



汎用半導体からメモリ・システムLSI・液晶
電子部品・ユニット基板等の販売
多種多様な商材をワンストップで提供

製造設備機器



表面実装機・印刷機・リフロー槽をはじめとする
電子部品実装ライン、検査機、専用自動機、
各工場環境機器、消耗材や副資材等の販売

EMS



国内、海外を問わず基板のアッセンブリから
ユニット、製品の組み立てまで対応
EMS : Electronic manufacturing service 電子機器受託製造サービス

組込製品



海外CPUボード、パネルユニットを数多く取扱い、
標準品、カスタム仕様の対応が可能

設計開発



回路設計から筐体設計、ソフトウェア設計、製品
デザインまで、商品開発における設計業務に対応

IoT

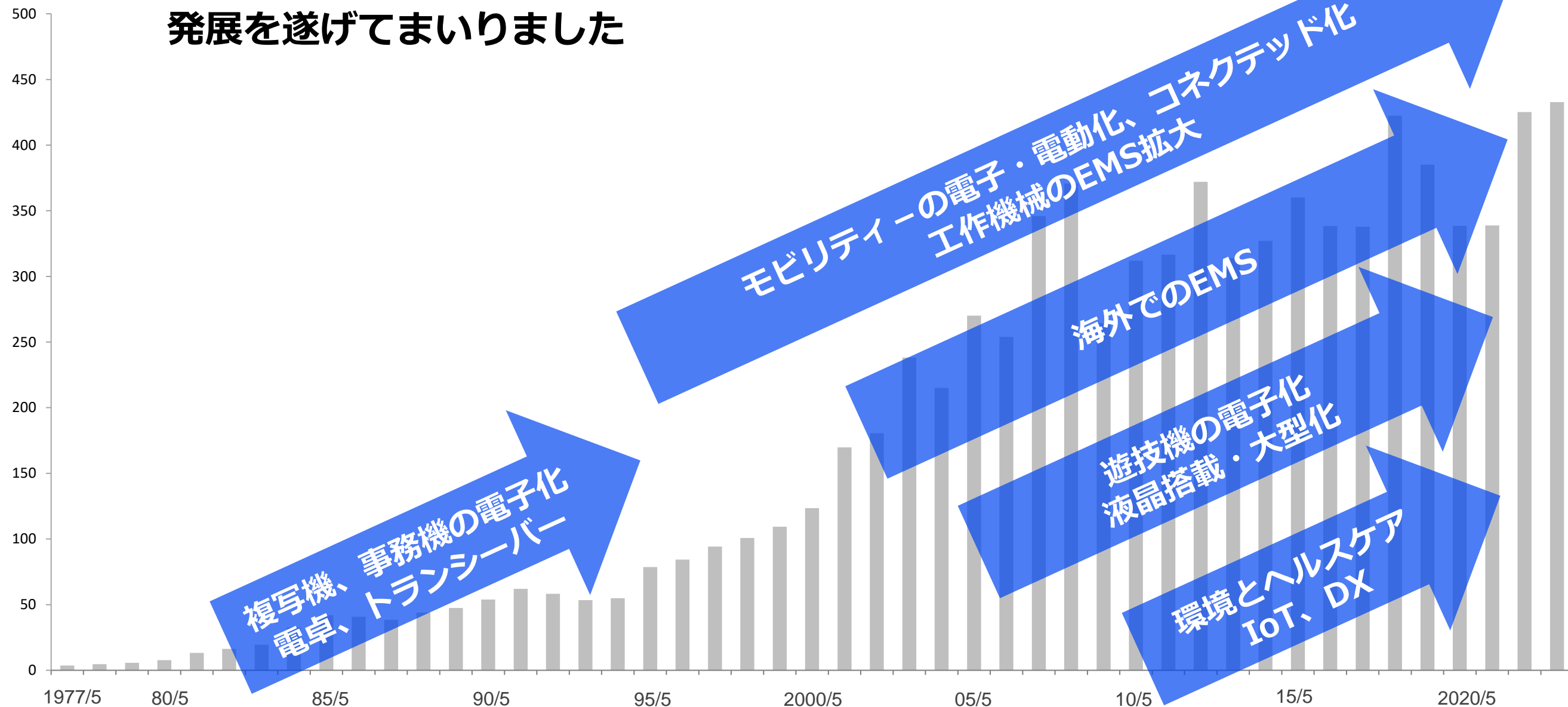


自社オリジナルのIoTプラットフォーム
miotシリーズをはじめ、多様なプロダクトで
お客様の課題に対応

19. 事業の変遷および業績推移

(売上高：億円)

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、
発展を遂げてまいりました



20. 拠点



国内拠点数：8 拠点

海外拠点数：9 拠点

21. ミタチ産業のCSR

ミタチグループのSDGs



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

当社グループは経営理念であります、顧客第一主義、人間尊重、一流へのチャレンジ、創造的革新、企業の社会貢献をもとに、グループの各社、各人が時代や地域を超え価値観や倫理観を共有し連携を図ることで、持続的な成長を続けてまいります。

近年、ESGの観点から長期的な企業成長にとって重要性を増しており、ミタチ産業グループにおいても、ESGの視点に立ちCSR活動を推進し、持続可能な成長を支える基盤づくりを進めてまいります。今後は国際社会の共通目標でありますSDGs(Sustainable Development Goals)を意識し、社会課題に対し貢献していける企業グループを目指していきます。

22. 2023年5月期 決算説明動画

視聴URL

<https://www.youtube.com/watch?v=yB0YdLXIYx4>



※本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。

決算資料

IR資料室

ホームページ

お問い合わせに関する窓口



 **三日月産業株式会社**

経営企画室

TEL : 052-332-2596

HP : <https://www.mitachi.co.jp>